

# 一般質問

3月定例会において行われた一般質問  
について概要をお伝えいたします。

質問議員……………11名

※一般質問とは…

一般質問とは、市の行政全般にわたり、その執行状況や将来の方針などについて報告、説明を求め、疑問を質すものです。

本会議のネット中継及び録画配信を行っております。

各議員の一般質問、総括質疑については、  
市議会ホームページによりご覧いただけます。

スマートフォンやタブレット等で  
視聴する場合はこちらのQRコード  
を読み込んでください。



北野唯道

Q 市長の施政方針について三本の柱を掲げているが、一つ目の魅力ある雇用の創出について

A 今、情報通信技術の劇的な進展や価値観の多様化などに伴い、新たな可能性が生まれており、それに興味を示し仕事をしたいと思う若者が増えている。

Q 二つ目の若い世代の活躍の支援について

A 結婚出産の希望を叶え、子育てをしながら安心して働けることが大切である。このことから、男女の出会いをサポートするほか、子育ての相談体制を充実するなど、若い世代が社会で活躍できるよう支援していく。

Q 三つ目の人と地域のつながりの創出について

A まちの活性化には、地域コミュニティの中で主体的にまちづくりに関わる人を育てていくことが重要である。そのためには、中高生と市の将来について語り合うしらかわ未来フォーラムなどを考えている。

Q 新型コロナウイルス感染症の医療機関の受け入れ体制について

A 県内には、入院患者に対応している医療機関は6病院、計32床ある。





## 大花 務

Q 鈴木和夫市長の施政方針

A 渋沢栄一は、地域の特色を活かす振興策の大切さを強く唱えた。又、内閣総理大臣の石橋湛山は、市町村に地租営業税、現在の固定資産税事業税を移譲すべしと地方の重要性を説いている。これを実行するのは、人であるからこそ白河での仕事や暮らしに魅力を増やして定住交流をさらに促すとともに、主体的にまちづくりに関わる人を育てていきたい。そういう思いを強く持って市政運営を行っていく。

いて検討を進め基本計画を策定するものである。

Q 表郷公民館以外3館の建設と分館の見直しについて

A 中央公民館、大信公民館、東公民館は、築45年以上経過している。各公民館の今後の方向性を定める個別計画を来年度までに策定する予定。6分館は、条例にあるが機能を果たしていないので必要性について議論を深めていく。

必要駐車場スペースの検討を行う。健康がテーマの新施設なので、徒歩や自転車、公共交通の利用を促したい。

Q 複合施設の概要と駐車場の確保について

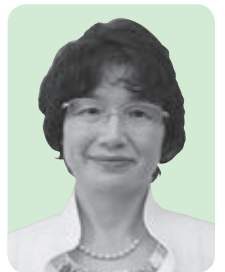
A 市民アンケートの結果や検討懇談会委員の意見・提案を基とし、整備コンセプト、導入機能の方針を定め、規模、配置、概算事業費の検討を行い、「基本計画」の素案を取りまとめ6月中の策定を目指していく。

Q Suicaカードを白河駅、新白河駅でも使えるように要望してほしい

A 引き続き、Suica対応機器の整備促進及びエリア拡大について要望していく。

Q 学校の統廃合について責任ある行動をとってほしい

A 検討にあたっては、児童生徒の教育条件の改善に主眼を置くべきと考えている。保護者、地域、学校支援組織などの協力を得ながら、丁寧に進めていく。



## 佐川 京子

Q 市民会館跡地利活用計画策定事業10名の検討懇談会について

A 市民会館跡地利活用計画策定事業は、今年度に引き続き健康をテーマにした行政機能と民間機能による複合施設の整備につ



〈白河市中心公民館〉

Q 中央公民館と武道館を旧宝酒造跡地に建設してほしい

A 両施設とも公共施設等総合管理計画に従い、来年度中に策定する個別計画で今後の方向性を検討していく。





## 藤田 文夫

**A** 提案いただいた内容や他の機

関も視野に入れ、引き続き、有効な活用方法を考えていく。

**Q** 年度途中の退職について

年度途中8名の退職後、業務に支障がでないような対策を講じたのか。また、4月以降どのように対応していくつもりか市の考えを伺う

**A** 早期退職者への対応としては、

課内係内において当面の業務量や緊急性なども勘案し業務分担を見直すとともに、臨時職員の募集や人事異動により職員を配置している。本年4月1日採用予定者のうち、3名を前倒しで採用したところである。令和2年度の早期採用を目的とした職員採用候補者試験を実施する。

**Q** 表郷庁舎への本庁機能移転について

耐震化工事が終了し、本庁舎に戻った場合、駐車場や会議室が慢性的に不足状態となり、また執務スペースが狭いなどのデメリットが考えられる。これらの問題解決と表郷庁舎の有効活用の観点から市の考えを伺う



〈表郷庁舎〉

**Q** インバウンドについて

小峰城や山本不動尊など9市町村の観光施設を素材にしたPR動画を英語や中国語など4ヶ国語で制作し、YouTubeやツイッターなどで積極的に発信している。さらに、隣接の那須町や那須塩原市、下郷町など、それぞれに魅力を持った自治体とも連携しながら、インバウンドも含めた交流人口の拡大に努めていく。

**Q** 小峰城清水門復元整備を含めた今後の小峰城全体の整備について

小峰城清水門復元整備を含めた今後の小峰城全体の整備について

**A** 令和2年度は、引き続き帯曲

輪の整備を進めるとともに、本丸から田町方面にのびる丘陵北面石垣を堪能できるように、樹木の伐採を計画している。清水門は、城内でも最大規模を誇る櫓門であり、荘厳な櫓門の姿を復元することで、城郭の威容を示すとともに、文化財としての価値がさらに高まるものと考えられる。



〈小峰城清水門〉

## 室井 伸一





## 石名国光

**Q** 白河市の将来を見据え市長の強いリーダーシップのもと「市民主役の市政」で「白河に住みたい」と言われるまちに向け、市長の考えを伺う

**A** 日本は、今急速な少子高齢化に伴い、市場規模の縮小や地方活力の衰退など、非常に難しい問題に直面しているが、国は明確な処方箋を示していない。そこで、自らが先頭に立ち、市民や各団体と手を携え、魅力的に住みよいまちづくりを進めていく。

**Q** 小峰城清水門の復元や東側丘陵樹木伐採で城全体が、大きく変貌し名城として位置付けられると考える。これからの小峰城の活用策を伺う

**A** 壮大な石垣や城郭を見ていただき、小峰城の魅力を一層向上させるため、清水門の復元や東側丘陵北面の石垣の顕在化にも取り組み、名城としての佇まいを感じることが出来る場を創出していく。

**Q** 南湖公園魅力再発見事業について伺う

**A** 南湖公園の魅力を広く認知してもらうための自然や歴史を満喫するイベントの開催と松平定信と渋沢栄一をテーマに講演会を実施していく。



〈南湖公園〉



## 高橋光雄

**Q** 日本資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一は、新一万円札の肖像に決まっている。また、渋沢を主人公とするNHK大河ドラマが、来年から放映予定となっている。我が白河藩主松平定信公と渋沢翁との関係は、切っても切れない深いものである。一方、本市は南湖公園・南湖神社の周年、国道294号白河バイパスの開通、小峰城清水門復元、さらに定信公生誕・没後の周年等、向こう10年近くは観光振興材料が目白押しとなっている。

国道294号白河バイパス完成・清水門復元と合わせて、定

信公と渋沢翁の関係を軸に、小峰城・南湖公園・白河の関等のキャンペーン構想及びその実行委員会創設について、市長の見解を伺う

**A** 定信公の七分金積立と福祉政策を高く評価し、こよなく敬愛した渋沢翁が脚光を浴びているこの機を逃さず、渋沢翁との関わりを含め、本市の魅力を発信していく。また、市全体で盛り上げていくため、市民や各種団体が構成する実行委員会の立上げも検討する。



〈松平定信公〉





## 大竹 功一

Q 新型コロナウイルスの予防対策について、どのように考えているのか

A 現在、国や関係機関の情報をもとに、保健だより等を通じ、市民への周知に努めている。今後も速やかに情報を収集し、啓発に努めたい。

Q 今回、表郷・大信・東地域で導入される予定のデマンドタクシーについて説明を



Q 緊急通報システムの内容と現状について伺いたい

A 対象は、65歳以上の高齢者一人暮らし及び寝たきり、または認知症の高齢者を抱える世帯等で現在145世帯である。



## 柴原 隆夫

Q 白河実業高校の農業科が修明高校へ統合される。社会の進展とともに、中学生が希望する進路も大きく変わり、他の学科が大幅に定数割れするなかで農業科は10年以上も定数を満たしている。一方の修明高校の農業系は、定数割れが続いており、会社の合併でも資本の大きい方に集約されるのが普通である。10年以上も定数を満たしている学校がそうでない学校へ集約されることは不自然である。また、遠距離通学が余儀なくされ、これまで学べた農業が学べなくなる状況が起こりえる

A 高校改革懇談会等で県教育委員会に要望していく。

Q 白河高校と旭高校は、定数削減が行われ、両校の合格基準が大幅に高くなり、削減前の点数

A 志願者にとっては、別の志望校を選択せざるを得ないなど、厳しい状況になっているかと思われる。

なら文句なく合格できる中学生が多数いる。定数削減は「ゆるやかな均衡」を目指すもので、合格基準を大幅に引き上げることではなかったはずである



〈農業科実習農場〉



## 須藤博之

Q 本市を中心とした新たな広域連携について

A 甲子トンネルの開通により、下郷町や南会津町等との交流、栃木県の大田原市、那須塩原市、那須町とは属している県は違いますが、実質的に生活圏、経済圏を共にしており、歴史的・文化的にも関係が深く、観光資源としての高い知名度、病院への受入調整などの面から連携による効果は高いため、今後は絆を深め相互に資源と知恵を持ち寄り、魅力の発信、共通する課題の解決に向け、地域全体として取り組んでいく。

Q 事業承継支援について

A 経営者の高齢化等に伴い、市内でも廃業する事業者が増加傾向にあり、今後、福島県事業引継ぎ支援センターなどと連携対応していく。

Q しらかわセーフロード事業概要について

A 地域の通行障害や騒音発生解消のための側溝改修事業で、改修必要延長は約13kmで、2年度は特に緊急性を要し、景観に配慮が必要な会津町・郭内約2.5kmを行う。



〈会津町地内〉



## 深谷弘

Q 入札による電気料金削減  
電力の自由化で、電力会社を自由に選べる時代になった。市の施設における電気料金も、電力会社変更で削減できる。年間の電気料金、契約先はどうなっているか

A 平成30年度電気料金総額は2億3148万円余り。契約者は、電力の自由化に伴い、施設ごとの見直しを行っており、平成30年度は東北電力、須賀川ガスの2社である。

Q 二本松市では、33施設の電気使用料金を入札にかけ、約7560万円(27・8%減)の削減効果を見込んでいる。市でも入札による電気料金削減に取り組むべきではないか

A 電力会社の選定方法等は事務手続きのルール化を図りながら進めていきたい。

Q 電力会社変更による、経費削減効果はどれくらいか

A 平成29年、新電力2社と東北電力の3社で本庁舎電気料金の見積もり合わせを行い、須賀川ガスが安価であるため、6月に契約変更した。経費削減効果は



## 須藤博之

## 深谷弘

Q 教育多忙化対策事業について

A 中学校の部活動に指導員を配置し、部活動の適正化を進め、

教職員の働き方改革、部活動の

質的向上を図ることを目的とし、

報酬は1時間当たり1600円

である。校長や各種団体から推

薦された方を教育委員会が選考

し、資格は教員免許を持つ者が

教育委員会で適任と認めた場合

の任用で、5月1日から2月末

日までの10ヶ月の任用期間とな

り、2年度は5人を予定してい

る。今後は、体育協会、文化団

体と連携を強化し、人材の確保

に努め、事業を継続、拡充を進

めていく。

Q 市民オーケストラ設立準備事業について

A 令和3年5月の設立に向け、

計画的に取り組んでいる。今年



4月に団員の募集を行い、5月

から10月にかけて約14回練習を

重ね、11月7日開催の「しらか

わ音楽の祭典」で初演奏を予定

している。弦楽器、管楽器など

のグループごとに指導者を配し

た指導体制を予定し、人選を進

めていきたい。

Q 農地耕作条件改善事業とは

A 当初予算に8909万2千円

計上されている。どのような事

業なのか

双石地区に進出を予定してい

る法人に対し、敷地造成の支援

を行う国の補助事業である。こ

の法人は、国内に6カ所、海外

に1カ所の農場を持ち、最先端

の技術により高品質・高収益作

物の栽培を行い、全国約90社の

大規模小売店等との取引実績が

ある。計画では、双石地区に大

規模園芸施設を建設し、社員・

パートタイマーで50〜100名

の雇用を見込んでいる。

Q 市民会館跡地活用計画策定について

A 当初予算に1239万5千円

計上されている。その内容、ス

ケジュールはどうなっているか



Q 「健康」をテーマに、行政機

A 能と民間機能による複合施設

整備の基本計画を策定するた

めのもの。昨年委託事業者を決

定、民間委員による「検討懇談

会」を3回開催。今後、月1回

の「懇談会」で意見・提案を集

約し方針を決める。